

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に記載された教科書総数	本報告書の総ページ数
小学校	社会科	4	7

調査研究の観点及び各教科書の特徴（3・4年）

観点 発行者	基礎・基本の定着	主体的に学習に取り組む工夫	内容の構成・配列・分量	内容の表現・表記	言語活動の充実
2 東書	<p>◆1時間ごとの目標の記載</p> <p>○見開きごとにタイトルを項目で示し、タイトルの左横に「つかむ」、「調べる」、「まとめる」の学習過程とともに、「どのような〜でしょうか。」「〜は、なぜでしょうか。」等の問いかけの形態で提示している。</p> <p>◆年中行事の扱い</p> <p>○「松山の秋祭り」を取り上げている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に古くから残るものを調べ、発表している。 ・昔から続く祭りについて、関係者から聞き取りをし、調べている。 ・郷土芸能の保存会の人から聞き取りをし、郷土芸能の体験をしている。 ・歴史マップをつくり、調べたことをまとめている。 <p>◆47都道府県の学び方の例</p> <p>○「知っている都道府県を地図帳でたしかめよう」で、鳥取県・岡山県・香川県・徳島県・北海道・福島県・東京都・京都府の各都道府県について、写真と文章で特色を例示している。</p> <p>○「日本地図を広げて」で、各都道府県の名称と位置、県庁所在地を示している。</p> <p>○「都道府県の特産品」で、各都道府県の特産品を地図中に絵で表している。</p> <p>○「都道府県の特産品」「空から日本を見てみると」で、各都道府県の特産品や特徴、県庁所在地などをカードにして示している。</p>	<p>◆学び方のポイント</p> <p>○下巻の最初の単元に、見開きで「学習の進め方」のページを設け、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習の進め方を示している。</p> <p>○問題解決的な学習の進め方については、単元ごとに「学習問題」を示すとともに、学習を振り返る、「まとめる」というページを設けている。</p>	<p>◆単元の構成</p> <p>○上巻（124ページ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしたちのまちみんなのまち ・はたらく人とわたしたちの暮らし ・かわってきた人々の暮らし <p>○下巻（188ページ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くらしを守る ・住みよいくらしをつくる ・きょう土のはってんにつくす ・わたしたちの県 	<p>◆脚注・側注の扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元のはじめに「めあて」の欄を設け、この単元で学習するねらいを示している。 ・「学び方コーナー」により、場面に応じた学習方法を示している。 ・「まなびのポイント」により、その時間の学習の流れを示している。 ・「調べる」により、何について調べるかを示している。 ・「ことば」により、用語の解説を示している。 ・キャラクターによる疑問の投げかけ、考えるヒント、学習への働きかけ、気づき、分かったことなどの吹き出しがある。 	<p>◆新聞、地図、年表、レポート、ホームページなどでのまとめ方</p> <p>○絵地図、地図、黒板、ノート、表、図、道具年表、新聞、安全マップ、歴史マップ、カード、道具メモ、紙しばい、短い文（標語）、きょう土カルタ、ホームページ</p> <p>◆新聞、地図、年表、レポート、ホームページなどでのまとめ方及び具体例</p> <p>○わたしたちの県</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県の広がり ・特色のある地いきと人々の暮らし <ul style="list-style-type: none"> 1 焼き物をつくるまち 篠山市 2 コウノトリを育てるまち 豊岡市 ・城を守るまち 姫路市 ・「特色のある地いきのよさを伝えるカードをつくってみよう」 ・世界とつながるわたしたちの県
17 教出	<p>◆1時間ごとの目標の記載</p> <p>○見開きごとにタイトルを項目で示し、タイトルの左横に「どのような〜だろう。」「〜は、なぜだろう。」等の問いかけの形態で提示している。</p> <p>◆年中行事の扱い</p> <p>○「大石神社の祭り」を取り上げている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大石神社の祭り」について、話し合っている。 ・まちの昔に詳しい人に手紙を書き、調べている。 ・祭りやおはやしを受けつぐ人たちから、聞き取りをしている。 ・おはやし保存会を訪ね、おはやしに挑戦している。 ・まちに伝わる年中行事について聞き取り、調べたことをカレンダーにまとめている <p>◆47都道府県の学び方の例</p> <p>○「日本の都道府県の区分」で、各都道府県の名称と位置、県庁所在地を示している。また、広島県について、写真と文章で特色を例示している。</p> <p>○「やってみよう」で、クイズを作ることを促し、富士山がまたがっている県、海に面した県、名前に動物がかかっている県を例示している。</p>	<p>◆学び方のポイント</p> <p>○各巻の巻頭で、見開きで「教科書の使い方」のページを設け、今日の活動を確かめる「活動」、言葉の意味をたしかめる「かいせつ」、調べ方や考え方を身に付ける「学びのてびき」、これから解決していく問題をたしかめる「学習問題」、学んだことや考えたことを整理する「まとめる」、学んだことをもとに、交流しながら表現する「深める」という学習の進め方を示している。</p> <p>○問題解決的な学習の進め方については、各巻の最初の単元に「学習問題」を示すとともに、「つかむ」「調べる」「まとめる・深める」という学習の進め方を具体的に説明している。また、問題形式でキーワードに注目して学習を振り返るページを設けている。</p>	<p>◆単元の構成</p> <p>○上巻（132ページ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしたちの大好きな町 ・働く人とわたしたちの暮らし ・変わるわたしたちの暮らし <p>○下巻（162ページ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全なくらしとまちづくり ・健康なくらしとまちづくり ・昔から今へと続くまちづくり ・わたしたちの県のまちづくり 	<p>◆脚注・側注の扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元のはじめに「学んでいこう」の欄を設け、この単元で学習するねらいを示している。 ・「学びのてびき」により、場面に応じた学習方法を示している。 ・「活動」により、その時間の学習の流れを示している。 ・「やってみよう」により、具体的な学習活動を示している。 ・「キーワード」により、社会科の学習にとって大切な言葉を示している。 ・「かいせつ」により、用語の解説を示している。 ・キャラクターによる疑問の投げかけ、考えるヒント、学習への働きかけ、気づき、分かったことなどの吹き出しがある。 	<p>◆新聞、地図、年表、レポート、ホームページなどでのまとめ方</p> <p>○絵地図、地図、ノート、表、ポスター、見学カード、グラフ、ちらし、パンフレット、年表、絵カード、地域安全マップ、農事ごよみ、昔さがしマップ、地域安全会議、道具調べカード、くらしの見直しをよびかける言葉、</p> <p>◆新聞、地図、年表、レポート、ホームページなどでのまとめ方及び具体例</p> <p>○わたしたちの県のまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県の地図を広げて ・焼き物を生かしたまちづくり 東峰村 ・昔のよさを未来に伝えるまちづくり 太宰府市 ・松原を生かしたまちづくり 宗像市 ・世界とつながる福岡県 ・「県をしようかいするパンフレットをつくろう」

<p>38 光村</p>	<p>◆1時間ごとの目標の記載 ○タイトルを項目で示している。ページの上部に「見つける」、「調べる・話し合う」、「まとめる・広げる」の学習過程とともに「どんな～でしょう。」「～は、どうしてかな。」等の問いかけの形態で提示している。</p> <p>◆年中行事の扱い ○「舞岡ばやし」を取り上げている。 ・自分たちのまちにある昔からの行事について、調べている。 ・おはやし保存会の人に聞きたいことをノートにまとめている。 ・おはやし保存会の練習を見学し、保存会の人に聞き取りをしている。 ・おはやし保存会の人に教えてもらい、おはやしに挑戦している。 ・まちに昔から伝わる行事を調べて、カードを作って紹介している。 ・地域の行事のまとめとして、「壬生の花田植」を取り上げている。</p> <p>◆47 都道府県の学び方の例 ○「いいところいっぱい、わたしたちの県」で、各都道府県の名称と位置を示している。また、各都道府県の特産品、歴史的建造物、有名なものを地図中に絵で示している。 ○おいしいもの、きれいなもの、豊かな自然、古くからの伝統、未来に向けたまちづくりなど、県にあるたからものを見つけるように促している。</p>	<p>◆学び方のポイント ○上巻の巻頭に見開きで、「見つける（ホップ）」「調べる・話し合う（ステップ）」「まとめる・広げる（ジャンプ）」という学習の進め方を示している。 ○問題解決的な学習の進め方については、単元ごとに「クラスの学習問題」を示すとともに、どの単元も上の3つの段階で学習を進め、「市のガイドブック作り」や「店の紹介ポスター作り」など、まとめる方法を例示した「まとめる・広げる」というページを設けている。</p>	<p>◆単元の構成 ○上巻（108 ページ） ・わたしたちのまちは、どんなまち ・見つけたよ、まちの人たちの仕事 ・昔って、おもしろい ○下巻（144 ページ） ・安全、安心、みんなの暮らし ・さわやか、すこやか、みんなの暮らし ・ふるさとをゆたかに ・いいところいっぱい、わたしたちの県</p>	<p>◆脚注・側注の扱い ・単元のはじめに「クラスの学習問題」の欄を設け、この単元で学習するねらいを示している。 ・「たいせつ」により、場面に応じた学習方法を示している。 ・下巻の「ことば」により、用語の解説を示している。 ・キャラクターによる疑問の投げかけ、考えるヒント、学習への働きかけ、気づき、分かったことなどの吹き出しがある。</p>	<p>◆新聞、地図、年表、レポート、ホームページなどでのまとめ方 ○絵地図、地図、ノート、まちの安全マップ、しようかいカード、お礼のカード、わたしたちの標語、県じまんカルタ、旅行計画書、ガイドマップ、店のしようかいポスター、年表、紙しばい、見学カード、水の旅すごろく、昔さがしカード ◆新聞、地図、年表、レポート、ホームページなどでのまとめ方及び具体例 ○いいところいっぱい、わたしたちの県 ・わたしたちの県「旅行計画書」を作ろう。 ・行ってみよう、見てみよう、わたしたちの県 ・箱根町には、どんな特色があるのかな。 ・三浦市には、どんな特色があるのかな。 ・相模原市には、どんな特色があるのかな。 ・神奈川県と他の地いきには、どんなつながりがあるのかな。 ○「県じまんかるた」を作ろう。</p>
<p>116 日文</p>	<p>◆1時間ごとの目標の記載 ○見開きごとにタイトルを項目で示している。タイトルの左横に「どんな～だろう。」「～理由は何だろう。」等の問いかけの形態で提示している。</p> <p>◆年中行事の扱い ○「とちぎ秋祭り」を取り上げている。 ・秋祭りについてグループに分かれて調べ、発表している。 ・山車会館の人から、聞き取りをし、山車等を見学している。 ・祭りを支える人びとから、聞き取りをし、調べたことをもとに話し合っている。 ・市につたわる祭りや行事について、調べて、話し合っている。 ・ふりかえりの手順をもとにまとめている。</p> <p>◆47 都道府県の学び方の例 ○「知っている都道府県がどれぐらいあるだろう」で、北海道、岩手県、大阪府、東京都、静岡県、山梨県、岡山県、香川県、宮崎県の各都道府県について、写真と文章で特色を例示している。また、自分の住む都道府県やそこ隣り合っている都道府県、行ったことがあったり知っていたりする都道府県などを白地図に書き込み、色付けをするように促している。 ○「都道府県を使った問題をつくってみよう」で、各都道府県の名称と位置を示し、クイズ形式で、「山」や「川」のつく県、海に面していない県を探したり、何かの形に見える県を考えたり、県名でしりとりをしたりするように促している。</p>	<p>◆学び方のポイント ○各巻の巻頭に、「この教科書のしくみ」のページを設け、「わたしの問題」「わたしの見方・考え方」「ふりかえてみよう」という言葉で、学習の進め方を示している。 ○問題解決的な学習の進め方については、問いの形で学習問題を示すとともに、振り返る方法を例示した「ふりかえてみよう」のページを設けている。</p>	<p>◆単元の構成 ○上巻（140 ページ） ・わたしたちの住んでいるところ ・わたしたちの暮らしとまちではたらく人びと ・今にのこる昔とくらしのうつりかわり 下巻（168 ページ） ・地図となかよしになろう ・住みよいくらしをつくる ・安全なくらしを守る ・地いきのはってんにつくした人々 ・わたしたちの住んでいる県</p>	<p>◆脚注・側注の扱い ・単元のはじめに「学習のまど」の欄を設け、この単元で学習するねらいを示している。 ・「学び方・調べ方コーナー」により、場面に応じた学習方法を示している。 ・「やってみよう」により、具体的な学習活動を示している。 ・「キーワード」により、社会科の学習にとって大切な言葉を示している。 ・「むずかしい言葉」により、用語の解説を示している。 ・「考えるヒント」により、資料を読み取るためのヒントを示している。 ・キャラクターによる疑問の投げかけ、学習への働きかけ、気づき、分かったことなどの吹き出しがある。</p>	<p>◆新聞、地図、年表、レポート、ホームページなどでのまとめ方 ○絵地図、地図、ノート、表、ガイドマップ、キャッチコピー、紙しばい、スケッチ、産地マップ、カルタ、安全マップ、ふりかえりシート、パンフレット、道具調べカード、見学発見カード、祭り調べカード、クイズ、ポスター、絵年表 ◆新聞、地図、年表、レポート、ホームページなどでのまとめ方及び具体例 ○わたしたちの住んでいる県 ・わたしたちの県のようす ・県の人々の暮らし （1）ゆたかな自然を生かす真庭市 （2）伝統的な工業がさかんな町 備前市「パンフレットでPRしよう」 ・世界に広がる人とのつながり 「ふりかえてみよう」 「わたしたちが住んでいる岡山県」 ・わたしたちが住んでいる岡山県の見どころはここだ！</p>

観点 発行者	基礎・基本の定着	主体的に学習に取り組む工夫	内容の構成・配列・分量	内容の表現・表記	言語活動の充実
2 東書	<p>◆日本の位置と領土について</p> <p>○写真 北方領土、竹島、尖閣諸島</p> <p>○竹島の記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本海上にある竹島は、日本固有の領土ですが、韓国が不法に占領しています。 <p>○尖閣諸島の記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東シナ海にある尖閣諸島は、日本固有の領土ですが、中国がその領有を主張しています。 <p>◆環境の保全</p> <p>○鴨川</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今と昔の鴨川の違い ・市役所の人や職人、地域の人から聞き取り ・環境を守る市民の取組を調べている。 <p>◆自然災害の防止について</p> <p>○自然災害から人々を守るための取組について調べている。</p> <p>○自然災害からわたしたちの生活を守るための取組をまとめ、自分たちにできることを話し合っている。</p>	<p>◆導入の工夫</p> <p>○大単元の導入において、見開きや観音開きのページ構成により、写真などで地球の様子を提示するとともに、キャラクターの話し言葉で、学習への興味・関心を高めている。</p> <p>◆興味・関心を高める問いの例</p> <p>○「わたしたちの国土」の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジアを中心とした衛星写真や世界の大陸と海洋のイラスト地球儀や地図を使った学習活動を示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・分かったことや疑問に思ったことをキャラクターによる話し言葉で掲載。(吹き出し数6) <p>「日本のまわりにはどんな国があるのかな。」</p> <p>「世界の大陸や海洋はどうなっているのだろう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下段に単元の学習のめあてを掲載している。 	<p>◆単元の構成</p> <p>○サイズ(ワイド)</p> <p>○上巻(118ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国土(60) ・農業・水産業(58) <p>○下巻(138ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業(56) ・情報(42) ・環境(38) <p>◆補充的・発展的教材の分量</p> <p>○上巻(10)</p> <p>○下巻(26)</p> <p>◆地域事例</p> <p>○農業：庄内平野</p> <p>○水産業：長崎県、静岡県、青森県</p> <p>○自動車工場：愛知県豊田市</p> <p>○国土：岐阜県海津市、長野県川上村・南牧村、沖縄県、北海道十勝地方</p>	<p>◆使用されている写真、地図、グラフ等の資料</p> <p>○写真、イラスト、国旗</p> <p>○地形図、主題図、鳥瞰図、地球儀</p> <p>○棒グラフ、折れ線グラフ、帯グラフ、円グラフ、雨温図、表、年表</p> <p>○新聞記事</p> <p>◆資料の種類と数(我が国の農業)</p> <p>○写真(49)、イラスト(3)</p> <p>○主題図(2)、地図(2)、鳥瞰図(1)、図(1)</p> <p>○折れ線グラフ(4)、帯グラフ(0)、円グラフ(6)、棒グラフ(3)、表(1)</p>	<p>◆まとめる</p> <p>○学習で出てきたことばを生かす。</p> <p>○わかったことと、自分が考えたことを分けて書く。</p> <p>○白地図、ノート、表、地図、キャッチコピー、カードにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車づくりのよさをキャッチコピーで表す。 <p>○スケジュール表、説明用の台本、事典、カルタ、関係図、ホームページ、新聞をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小工場や運輸の働きについてカルタにまとめる。 <p>◆いかす</p> <p>○学習したことをもとに、自分の生活の中でできることを考えたり、将来に向けた提案をしたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食糧生産についてのまとめをもとに、テレビ番組の案を作る。 ・夢の工業製品を考える。 ・情報活用宣言を作る。
17 教出	<p>◆日本の位置と領土について</p> <p>○写真 北方領土、竹島、尖閣諸島</p> <p>○竹島の記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島根県の竹島は、日本の領土でありながら、1954(昭和29)年から韓国が不法な占拠を続けています。日本はこれに抗議するとともに、国際的な場で話し合いによって平和的に解決しようと、韓国に対するはたらきかけを重ねてきています。 <p>○尖閣諸島の記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県の尖閣諸島も日本の領土でありながら、中国が自国の領土であると主張しています。その周りの日本の海では、中国の船が侵入し、日本の同意を得ることなく海洋調査を行ったり、違法に漁業を行ったりするなどの行為をくり返しています。日本は、海上保安庁などによる警戒や取り締まりを強め、そうした行為をしないよう中国に求めています。 <p>◆環境の保全</p> <p>○北九州市</p>	<p>◆導入の工夫</p> <p>○大単元の導入において、見開きのページ構成により、写真などで地球の様子を提示するとともに、キャラクターの話し言葉で、学習への興味・関心を高めている。</p> <p>◆興味・関心を高める問いの例</p> <p>○「わたしたちのくらしと国土」の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジアを中心とした衛星写真、地球儀や地図を使った学習活動を示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・分かったことや疑問に思ったことをキャラクターによる話し言葉で掲載。(吹き出し数3) <p>「わたしの知っている外国は、どのあたりにあるのかな。」</p> <p>「日本は、大きな陸地のとなりにある島国だね。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下段に単元の学習のめあてを掲載している。 	<p>◆単元の構成</p> <p>○サイズ(ワイド)</p> <p>○上巻(160ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国土(50) ・農業・水産業(58) ・工業(52) <p>○下巻(66ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報(26) ・環境(40) <p>◆補充的・発展的教材の分量</p> <p>○上巻(14)</p> <p>○下巻(6)</p> <p>◆地域事例</p> <p>○農業：南魚沼市</p> <p>○水産業：根室市、垂水市</p> <p>○自動車工場：福岡県苅田町</p> <p>○国土：新潟県白根郷、長野県野辺山原、沖縄</p>	<p>◆使用されている写真、地図、グラフ等の資料</p> <p>○写真、イラスト、国旗</p> <p>○地形図、主題図、地球儀</p> <p>○棒グラフ、折れ線グラフ、帯グラフ、円グラフ、雨温図、表、年表</p> <p>○新聞記事</p> <p>◆資料の種類と数(我が国の農業)</p> <p>○写真(48)、イラスト(8)</p> <p>○主題図(3)、地図(1)</p> <p>○折れ線グラフ(4)、帯グラフ(1)、円グラフ(1)、棒グラフ(5)、表(2)</p>	<p>◆まとめる</p> <p>○わかったことや考えたことを整理する。</p> <p>○キーワードに注目してまとめる。</p> <p>○ノート、表にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米づくりの今と昔について自分の考えをノートにまとめる。 ・インターネットを利用するくらしの便利な点と不安な点を考え、表にまとめる。 <p>◆深める</p> <p>○友だちと意見交流し合う。</p> <p>○これからのくらしや社会を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしたちの食生活について自分の考えを伝える新聞づくりをする。 ・情報ルールを考える。 ・「環境チェック表」で自分の行動を振り返る。

	<ul style="list-style-type: none"> ・空や海がよごれた様子 ・公害をなくす運動に参加した人から聞き取り ・ごみを出さない取組を調べている。 <p>◆自然災害の防止について</p> <p>○自然災害からくらしを守るための取組について、国土交通省の人から聞き取りをし、調べている。</p> <p>○自然災害に備えて、自分たちにできることについて、まとめている。</p>		<p>県、北海道</p>		
<p>38 光村</p>	<p>◆日本の位置と領土について</p> <p>○写真</p> <p>北方領土</p> <p>○竹島の記述</p> <p>○尖閣諸島の記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄本島の西にある尖閣諸島（沖縄県）は、日本の領土ですが、中国がその領有を主張しています。 <p>◆環境の保全</p> <p>○水俣市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海が汚染されて起こったこと ・水俣病の患者さんたちの願いや思いについて聞き取り ・環境を守ることの大切さについてまとめ、環境宣言を作っている。 <p>◆自然災害の防止について</p> <p>○自然災害の被害を防ぐための取組について、聞き取りをし、調べている。</p> <p>○防災のために、自分たちのできることを考え、発表している。</p>	<p>◆導入の工夫</p> <p>○大単元の導入において、見開きや観音開きのページ構成により、写真などで国土の様子を提示するとともに、キャラクターの話し言葉で、学習への興味・関心を高めている。</p> <p>◆興味・関心を高める問いの例</p> <p>○「日本の国土とわたしたちのくらし」の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本列島の衛星写真、日本の地形や交通網、土地利用を表した日本地図を示している。 ・分かったことや疑問に思ったことをキャラクターによる話し言葉で掲載。（吹き出し数2） <p>「わたしたちの国、日本は、地図で見ると、こんな形をしているんだ。」</p> <p>「ぼくたちのまちは、日本の中のどこにあるのかな。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上段に単元の学習のめあてや学習への誘いの文を掲載している。 	<p>◆単元の構成</p> <p>○サイズ（ワイド）</p> <p>○通年一冊（220 ページ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国土（48） ・農業・水産業（54） ・工業（50） ・情報（30） ・環境（38） <p>◆補充的・発展的教材の分量</p> <p>○（30）</p> <p>◆地域事例</p> <p>○農業：庄内平野</p> <p>○水産業：長崎県松浦市 愛媛県愛南町 神奈川県三浦市 神奈川県葉山町 富山県氷見市</p> <p>○自動車工場：神奈川県横須賀市</p> <p>○国土：和歌山県田辺市 長野県飯山市 岐阜県海津市 長野県原村 沖縄県 北海道旭川市</p>	<p>◆使用されている写真、地図、グラフ等の資料</p> <p>○写真、イラスト、国旗</p> <p>○主題図、地球儀</p> <p>○棒グラフ、折れ線グラフ</p> <p>帯グラフ、円グラフ、雨温図、表、年表</p> <p>○新聞記事</p> <p>◆資料の種類と数（我が国の農業）</p> <p>○写真（44）、イラスト（5）</p> <p>○主題図（3）、地図（2）、図（1）</p> <p>○折れ線グラフ（2）、 帯グラフ（1）、円グラフ（4）、棒グラフ（3）、 表（1）</p>	<p>◆まとめる</p> <p>○わかったことや考えたことを伝え合う。</p> <p>○ノート、作品（新聞・パンフレット・レポート・グラフ・年表）にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域を紹介するパンフレットを作る。 ・日本の工業生産の特色を新聞にまとめる。 <p>◆広げる</p> <p>○新しい疑問を見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の国土クイズ大会を開く。 ・「10年後の自動車」の企画書を作る。 ・「わたしたちの環境宣言」を作る。

116 日文	<p>◆日本の位置と領土について</p> <p>○写真 北方領土、竹島、尖閣諸島</p> <p>○竹島の記述 ・日本海にある竹島は、日本固有の領土ですが、現在、韓国が不法に占拠しています。</p> <p>○尖閣諸島の記述 ・東シナ海にある尖閣諸島は、日本固有の領土ですが、中国も自国の領土であると主張しています。</p> <p>◆環境の保全</p> <p>○四日市市 ・空気が汚れていた原因 ・裁判所に訴えた人から聞き取り ・環境をよりよくするための取組について調べている。</p> <p>◆自然災害の防止について</p> <p>○自然災害がわたしたちの生活や産業に与える影響について、聞き取りをしたり、調べたりしている。</p> <p>○自然災害から命を守るためにできることを考え、まとめている。</p>	<p>◆導入の工夫</p> <p>○大単元の導入において、見開きのページ構成により写真で地球の様子を提示すると共にキャラクターの話し言葉で学習への興味・関心を高めている。</p> <p>◆興味・関心を高める問いの例</p> <p>○「日本の国土と人々の暮らし」の導入 ・アジアを中心にした衛星写真を掲載している。</p> <p>・分かったことや疑問に思ったことをキャラクターによる話し言葉で掲載。(吹き出し数4) 「いくつかの大きな陸地のかたまりがあるね。それぞれちがった形をしているよ。」 「地球のようすをもっとくわしく調べてみるにはどうしたらいいのかな。」 ・下段に単元の学習のめあてや学習への誘いの文を掲載している。</p>	<p>◆単元の構成</p> <p>○サイズ(ワイド)</p> <p>○上巻(104ページ) ・国土(44) ・農業・水産業(60)</p> <p>○下巻(120ページ) ・工業(46) ・情報(26) ・環境(48)</p> <p>◆補充的・発展的教材の分量</p> <p>○上巻(14) ○下巻(20)</p> <p>◆地域事例</p> <p>○農業：庄内平野 ○水産業：長崎県 ○自動車工場：三重県鈴鹿市 ○国土：岐阜県海津市 群馬県嬭恋村 沖縄県 北海道旭川市</p>	<p>◆使用されている写真、地図、グラフ等の資料</p> <p>○写真、イラスト、国旗 ○地形図、主題図、地球儀 ○棒グラフ、折れ線グラフ 帯グラフ、円グラフ、雨温図、表、年表 ○新聞記事</p> <p>◆資料の種類と数(我が国の農業)</p> <p>○写真(40)、イラスト(20) ○主題図(3)、地図(3)、図(2) ○折れ線グラフ(5)、 帯グラフ(1)、円グラフ(1)、棒グラフ(9)、 表(3)</p>	<p>◆表現する</p> <p>○ノートのまとめ方 ・調べたことを整理して書く。 ・意味や理由を考えて書きくわえる。 ・学習したあとの深まった考えや新たな疑問を書く。</p> <p>○話し合いのしかた ・話し手は、まとめたノートなどの表現物を見せながら、自分の考えを説明する。 ・聞き手は、話を聞いて自分の考えがどう変わったのか話し手に説明する。</p> <p>○個人新聞のまとめ方 ・読みたくなる見出しをつける。 ・イラストなども入れて、わかりやすくまとめる。 ・これまで調べたことから自分の考えを書く。</p> <p>○図や文を使った作品のまとめ方</p> <p>◆ふりかえってみよう</p> <p>○図、写真、グラフを使って、ノート、ふりかえりシート、新聞にまとめる ・「これからの米作りでたいせつなこと」について話し合う。 ・「これからの水産業でたいせつなこと」を新聞にまとめる。 ・日本の工業の特色について、ふりかえりシートにまとめる。</p>
--------	---	---	---	---	---

調査研究の観点及び各教科書の特徴(6年)

<div style="text-align: center;">観点</div> <div style="text-align: left;">発行者</div>	基礎・基本の定着	主体的に学習に取り組む工夫	内容の構成・配列・分量	内容の表現・表記	言語活動の充実
2 東書	<p>◆世界文化遺産の扱い</p> <p>○画像で掲載されている世界文化遺産は19。本文中だけでなく、巻末の年表の中で世界文化遺産を紹介している。</p> <p>◆歴史上の人物の扱い及び事例</p> <p>○歴史上の人物の扱い及び事例として、学習指導要領に例示されている42名以外に20名を扱っている。</p> <p>○歴史上の人物の扱い及び事例として、囲み資料として「福沢諭吉」を取り上げている。著書「学問のすゝめ」から「人間は生まれながらにして平等であること、一国の独立は個人の独立にもとづくこと、個人の独立には、学問が必要なこと」について述べている。</p>	<p>◆学び方のポイント</p> <p>○上巻の最初の単元に、見開きで「学習の進め方」のページを設け、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習の進め方を示している。</p> <p>○問題解決的な学習の進め方について、単元ごとに「学習問題」を示すとともに、学習を振り返る、「まとめる」というページを設けている。</p> <p>◆まとめ方の例</p> <p>○つながりの深い国について調べたことを出し合い、話し合う。日本と似ているところと違うところを表に整理して、話し合う。意見文をつくり、発表する。</p>	<p>◆単元の構成</p> <p>上巻(154ページ) ○日本の歴史(154ページ) 下巻(110ページ) ○わたしたちの生活と政治(56ページ) ○世界の中の日本(54ページ)</p> <p>補充的・発展的教材の分量 上巻(24) 下巻(16)</p>	<p>◆使用されている写真、地図、グラフ等の資料</p> <p>○写真、イラスト、国旗 ○主題図、地図 ○棒グラフ、折れ線グラフ、帯グラフ、円グラフ、表、年表 ○新聞記事</p> <p>◆資料の種類と数(わたしたちの生活と政治)</p> <p>○写真(119)、イラスト(31) ○地図(4)、 ○折れ線グラフ(1)、年表(4)円グラフ(2)、 棒グラフ(2) ○新聞記事(5)</p>	<p>○表に整理。年表に整理。ノートに整理。カードに整理。短文に整理。関係図に整理。人物カードに整理。</p> <p>○新聞の社説に自分の考えを書く。学習した人物の思いを書く。フローチャートに整理。当時の人になったつもりで説明する。せりふを考えて、4コマまんがを完成させる。徳川家光になったつもりで、自分が行うことを祖父の徳川家康あてに報告の手紙を書く。</p> <p>○時代を表すキャッチフレーズをつくり、友だちと話し合う。政治に関する新聞記事を出し合い、カードに整理して発表し、考えたことを話し合う。テーマを選んで意見文を書き、発信する。</p>

		<p>◆作業的・体験的な学習の例</p> <p>○地域のフィールドワーク，博物館の見学，人物の台詞づくり，新聞づくり，カードづくり，年表づくり，室町文化体験，レポート作成，メッセージづくり，徳川家康への手紙作成，比較表作成，キャッチフレーズづくり，明治の人物関係図づくり，戦争体験の聞き取り，意見文作成，インタビュー，市役所の取材，フローチャート作成，三権分立図づくり，つながりの深い国調べ，地図づくり</p>		<p>◆脚注・側注の扱い</p> <p>○「学び方コーナー」により，場面に応じた学習方法を示している。</p> <p>○「ことば」により，用語の解説を示している。</p> <p>○キャラクターによる疑問の投げかけ，考えるヒント，学習への働きかけ，気づき，分かったことなどの吹き出しがある。</p>	
17 教出	<p>◆世界文化遺産の扱い</p> <p>○画像で掲載されている世界文化遺産は13。本文中で世界文化遺産を紹介している。</p> <p>◆歴史上の人物の扱い及び事例</p> <p>○歴史上の人物の扱い及び事例として，学習指導要領に例示されている42名以外に24名を扱っている。</p> <p>○歴史上の人物の扱い及び事例として，囲み資料として「福沢諭吉」を取り上げている。著書「学問のすゝめ」から人は生まれながらにして平等であり，学問をすることで身を立てていくべきだと主張しました。</p>	<p>◆学び方のポイント</p> <p>○上巻の最初の単元に，見開きで「学習問題をつくり，学習の見通しを立てよう」のページを設け，「つかむ」，「調べる」，「まとめる・深める」という学習の進め方を示している。</p> <p>○問題解決的な学習の進め方について，単元ごとに「学習問題」を示し，キーワードに注目して学習を振り返る「まとめる」というページを設けている。</p> <p>◆まとめ方の例</p> <p>○つながりの深い国について，調べたことを発表し，話し合う。調べた国について，日本との関わり，国土や産業の様子などの項目ごとに表にまとめる。調べた国と日本とのこれからの関係について自分の考えを書く。</p> <p>◆作業的・体験的な学習の例</p> <p>○地域のフィールドワーク，博物館の見学，年表づくり，比較表作成，歴史人物インタビュー，新聞づくり，関係図づくり，作文作成，絵の解説作成，人物の解説作成，人物の台詞づくり，聞き取り調査，カードづくり，三権分立図づくり，つながりの深い国調べ</p>	<p>◆単元の構成</p> <p>上巻（146 ページ）</p> <p>○日本の歴史（146 ページ）</p> <p>下巻（78 ページ）</p> <p>○暮らしの中の政治（36 ページ）</p> <p>○世界の中の日本（42 ページ）</p> <p>補充的・発展的教材の分量</p> <p>上巻（13）</p> <p>下巻（6）</p>	<p>◆使用されている写真，地図，グラフ等の資料</p> <p>○写真，イラスト，国旗</p> <p>○主題図，地図</p> <p>○棒グラフ，折れ線グラフ，帯グラフ，円グラフ，表，年表</p> <p>◆資料の種類と数（暮らしの中の政治）</p> <p>○写真（61），イラスト（11）</p> <p>○地図（5），</p> <p>○折れ線グラフ（2），円グラフ（4），棒グラフ（4），表（1）</p> <p>◆脚注・側注の扱い</p> <p>○単元のはじめに「学んでいこう」の欄を設け，この単元で学習するねらいを示している。</p> <p>○「学びのてびき」により，場面に応じた学習方法を示している。</p> <p>○「やってみよう」により，具体的な学習活動を示している。</p> <p>○「キーワード」により，社会科の学習にとって大切な言葉を示している。</p> <p>○「解説」により，用語の解説を示している。</p> <p>○キャラクターによる疑問の投げかけ，考えるヒント，学習への働きかけ，気づき，分かったことなどの吹き出しがある。</p>	<p>○年表にまとめる。関係図にまとめる。人物関係図にまとめる。比較して表にまとめる。カードにまとめる。キーワードで考えをまとめる。</p> <p>○絵や人物に解説をつける。特徴を説明する。表に整理して意見文を書く。インタビューに，それぞれの人物の立場になって答える。できごとをまとめ，意味を考える。宣言文を書く。</p> <p>○歴史新聞を作成し，お互いの作品を見せ合っただけでなく，よいところや感想を伝え合う。資料を読み取りながら，国民の政治への参加について話し合う。調べたことを伝え合い，友だちの意見を取り入れたり，さらに調べたりして，作品をよりよいものにする。</p>
38 光村	<p>◆世界文化遺産の扱い</p> <p>○画像で掲載されている世界文化遺産は17。本文中だけでなく，巻末の見開き2ページに世界遺産を紹介している。</p> <p>◆歴史上の人物の扱い及び事例</p> <p>○歴史上の人物の扱い及び事例として，学習指導要領に例示されている42名以外に22名を扱</p>	<p>◆学び方のポイント</p> <p>○巻頭に見開きで「見つける（ホップ）」，「調べる・話し合う（ステップ）」，「まとめる・広げる（ジャンプ）」という学習の進め方を示している。</p> <p>○問題解決的な学習の進め方について，単元ごとに「クラスの学習問題」を示すとともに，まとめる方法を例示した「まとめる・ひろげる」</p>	<p>◆単元の構成</p> <p>220 ページ</p> <p>○日本の歴史（146 ページ）</p> <p>○私たちの暮らしと政治（30 ページ）</p> <p>○共に生きる地球（44 ページ）</p> <p>補充的・発展的教材の分量</p> <p>（24）</p>	<p>◆使用されている写真，地図，グラフ等の資料</p> <p>○写真，イラスト，国旗</p> <p>○主題図</p> <p>○棒グラフ，折れ線グラフ，帯グラフ，円グラフ，表，年表</p> <p>○新聞記事</p> <p>◆資料の種類と数（私たちの暮らしと政治）</p>	<p>○劇をつくる。歴史新聞を作る。人物年表を作る。人物事典を作る。カードにまとめる。年表を作る。</p> <p>○興味をもった出来事を調べて，戦後の年表を作る。「わたしたちの提案書」を書く。</p> <p>○貴族の世の中と武士の世の中を比べ，発表し合う。江戸時代の暮らしをスピーチで伝え合い，質問，感想を書く。わたしたちの未来について</p>

	<p>っている。</p> <p>○ 歴史上の人物の扱い及び事例として、囲み資料として「福沢諭吉」を取り上げている。著書「学問のすゝめ」から「人間はみな平等であること、学問をすることによって国民が自立することの大切さ」を説いている。</p>	<p>というページを設けている。</p> <p>◆まとめ方の例</p> <p>○ それぞれが調べた国について発表し合い、発表を聞いて考えたことをクラスで話し合う。</p> <p>◆作業的・体験的な学習の例</p> <p>○地域のフィールドワーク、博物館の見学、大昔の人々の暮らしの劇化、新聞づくり、室町文化体験、人物年表づくり、スピーチ原稿作成、ポスターづくり、人物事典づくり、年表づくり、提案書作成、つながりの深い国調べ、意見文作成</p>		<p>○写真（47）、イラスト（16）</p> <p>○地図（5）、</p> <p>○帯グラフ（1）、円グラフ（4）、棒グラフ（1）、表（1）</p> <p>◆脚注・側注の扱い</p> <p>○単元のはじめに「クラスの学習問題」の欄を設け、この単元で学習するねらいを示している。</p> <p>○「たいせつ」により、場面に応じた学習方法を示している。</p> <p>○「ことば」により、用語の解説を示している。</p> <p>○キャラクターによる疑問の投げかけ、考えるヒント、学習への働きかけ、気づき、分かったことなどの吹き出しがある。</p>	<p>意見文を書き、話し合う。憲法の意義をスピーチする。調べた国のことを発表し合う。</p>
<p>116 日文</p>	<p>◆世界文化遺産の扱い</p> <p>○ 画像で掲載されている世界文化遺産は21。本文中だけでなく、目次のページで世界遺産を紹介している。</p> <p>◆歴史上の人物の扱い及び事例</p> <p>○歴史上の人物の扱い及び事例として、学習指導要領に例示されている42名以外に28名を扱っている。</p> <p>○歴史上の人物の扱い及び事例として、囲み資料として「福沢諭吉」を取り上げている。著書「学問のすゝめ」から「人はみな生まれながらにして平等であること、学問の中でも世の中の役に立つ実学にはげむことで人は独立することができること、一人一人の独立が、やがて日本の独立につながる事」について述べられている。</p>	<p>◆学び方のポイント</p> <p>○上巻の巻頭に「この教科書のしくみ」のページを設け、「わたしの問題」、「わたしの見方・考え方」、「ふりかえてみよう」という言葉で、学習の進め方を示している。</p> <p>○問題解決的な学習の進め方については、問いの形で学習問題を示すとともに、振り返る方法を例示した「ふりかえてみよう」のページを設けている。</p> <p>◆まとめ方の例</p> <p>○つながりの深い国について発表し合い、それぞれの国を比べてどんなことがわかるかを振り返る。振り返ったことをもとにして新聞にまとめ、社説として自分の考えを書く。</p> <p>◆作業的・体験的な学習の例</p> <p>○地域のフィールドワーク、資料館・博物館の見学、カードづくり、ふりかえりシート作成、人物関係図づくり、地図づくり、聞き取り調査、年表づくり、新聞づくり、イラスト添付による年表づくり、自分年表づくり、つながりの深い国調べ、室町文化体験、ポスターづくり</p>	<p>◆単元の構成</p> <p>上巻（162ページ）</p> <p>○日本のあゆみ（162ページ）</p> <p>下巻（82ページ）</p> <p>○わたしたちの暮らしと政治（40ページ）</p> <p>○世界の中の日本（42ページ）</p> <p>補充的・発展的教材の分量</p> <p>上巻（15）</p> <p>下巻（6）</p>	<p>◆使用されている写真、地図、グラフ等の資料</p> <p>○写真、イラスト、国旗</p> <p>○主題図</p> <p>○棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフ、表、年表</p> <p>○新聞記事</p> <p>◆資料の種類と数（わたしたちの暮らしと政治）</p> <p>○写真（63）、イラスト（21）</p> <p>○地図（6）</p> <p>○円グラフ（8）、棒グラフ（3）、表（2）</p> <p>○新聞記事（2）</p> <p>◆脚注・側注の扱い</p> <p>○単元のはじめに「学習のまど」の欄を設け、この単元で学習するねらいを示している。</p> <p>○「学び方・調べ方コーナー」により、場面に応じた学習方法を示している。</p> <p>○「やってみよう」により、具体的な学習活動を示している。</p> <p>○「キーワード」により、社会科の学習にとって大切な言葉を示している。</p> <p>○「むずかしい言葉」により、用語の解説を示している。</p> <p>○「考えるヒント」により、資料を読み取るためのヒントを示している。</p> <p>○キャラクターによる疑問の投げかけ、学習への働きかけ、気づき、分かったことなどの吹き出しがある。</p>	<p>○ノート、図、カード、ポスターにまとめる。ふりかえりシートにまとめる。人物関係図にまとめる。地図に整理する。新聞にまとめる。</p> <p>○自分の生活と憲法の三原則との関係について考える。キーワードを使って分かったことを書く。</p> <p>○4人の人物ごとに図にまとめ、自分の考えのもとになった資料を示しながら、発表し合う。図にまとめ、自分たちの考えを話し合う。調べたことやまとめたノートや、写真、資料などを見せながら話し合う。</p>